



【しんごとにとんでんへいちゅうたいほんぶ】

新琴似屯田兵中隊本部

新琴似屯田兵村の本部

この建物は、明治20(1887)年5月、九州の士族146戸の入植(同21(1888)年5月、74戸を補充)により発足した新琴似屯田兵村(屯田兵第1大隊第3中隊)の本部として、明治19(1886)年に建造された。

札幌市指定有形文化財に

屯田兵役解除後は、兵村自治機関である兵村会の共有財産となり、以後、町内会、産業組合、市役所新琴似出張所および集会所などに利用されたが、昭和40(1965)年、札幌市に寄付された。

昭和47(1972)年、創建時の姿に復原され、同49(1974)年4月、札幌市有形文化財に指定された。同年10月新琴似屯田兵中隊本部保存会が結成され、同会が収集した屯田兵関係の資料を保管・展示している。

中隊本部は、兵村の中心的施設で、兵村の村役場としての機能をもっていたものであり、兵村遺構として貴重な建物である。

バルーン・フレーム構造

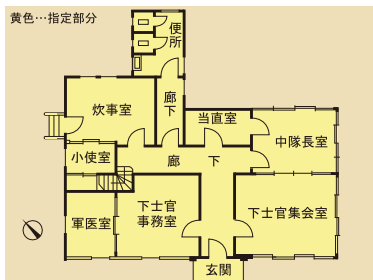
この建物は、全体の形、手法が素朴で、かつ大らかであり玄関出入口、窓廻り等の細部、小屋組など、当時流行したバルーン・フレーム構造の特徴をよく残している。

建物の右手は中隊長室、下士官集会所であったといわれるが、ここに3方に連続した引き違いガラス窓

があり、開拓使時代の洋風建築にはみられなかった手法である。

概要

- 木造2階建
- 切妻屋根、垂鉛引鉄板葺
- 小屋組 バルーン・フレーム構造
- 床面積(1階) 139.90㎡



● 建築年代: 明治 19(1886) 年

● 指定年月日: 昭和 49(1974) 年 4 月 20 日

● 所在地: 札幌市北区新琴似 8 条 3 丁目 1-8

● お問い合わせ: 現地管理人 ☎ 765-3048

● 観覧形態: 内部観覧可

● 観覧時間: 10 時 00 分 ~ 16 時 00 分

● 休館日: 4 ~ 11 月の月曜・水曜・金曜・日曜日
12 ~ 3 月閉館

● 観覧料: 無料

● アクセス: JR 新琴似駅より約 500m
中央バス「新琴似 8 条 3 丁目」